

ガネフォ(GANEFO)とは

(Games of the New Emerging Forces)の略で

「新興国競技大会」の事

「ガネフォ」とは、第18回 東京オリンピック開催の前年に当たる1963年(昭和38年)11月10日から21日までの12日間に、インドネシアの首都ジャカルタに於いてスカルノ大統領が開催した「新興国競技大会」の事です。

「ガネフォ」には、世界の51カ国と2,700人の選手が参加しており、陸上競技、重量挙げ、アーチェリーに於いては世界新記録が生まれたほどの、充実した大きな国際的な競技大会でした。

日本からは、頭山立國 団長以下96名が参加しており日本チームのメダル獲得数は金3個、銀9個、銅9個の合計21個で51カ国中6位の成績を収めました。

なお、この文集の母体である日本水球チームは、準優勝で「銀メダル」を獲得しました。



インドネシア・スカルノ大統領

「ガネフォ60周年記念誌」発刊に当り

2023年現在、当時ガネフォに出場した選手は85歳前後になり、既に亡くなられた方や老人ホームに入居した方などが増え、今後ガネフォ会をどうするかについて1年前から話し合ってきました。その結果、ガネフォ会の開催と記念誌の発刊は、60周年をもって最終と致します。しかし「ガネフォ」の事は末代まで引き継いで行きたいと思えます。

ガネフォ出場者で既に亡くなられた方、記憶が薄れて寄稿できない方については、当時の友人たちが思い出を寄稿して下さいました。皆様のご協力に対し重ねて感謝申し上げます。

お蔭様で立派な記念誌が出来上がり本当に有難う御座いました。

2023年11月

ガネフォ会幹事 村上(本郷)順三

東京・銀座 イル・ポネンティーノにて



小野 浅井 田中 古川 石塚 富田 村上 先崎

浦辺 菅久 頭山 桑原 森 野澤

中山 吉田